

教科名		社会	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点	発行者名	東京書籍	教育出版
A 内容 について	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・毎単元の「まとめ」の段階で、学習してきた内容や重要語句を生かしてまとめられるよう例示しており、学習内容が工夫されている。	・調べる段階では、難しい言葉を解説したり、確実に習得しておきたい言葉をキーワードとして欄外に載せたり、太字にして強調したりする工夫がある。 ・まとめる段階では、表に整理したり、単元で学んだ重要語句を活用したりする活動が設定され、学習内容の理解を図る工夫がされている。
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・各学年の「学習の進め方」のページで発達段階に応じて、「空間」「時間」「相互関係」の視点と考え方(方法)を問いの形で示し、児童が社会的事象の見方・考え方を働かせるように工夫されている。 ・単元の終末において、「調べたことをまとめる」にとどまらず、「学習したことをいかす」内容を取り入れており、児童が社会に見られる課題を把握し、考えることができる内容になっている。	・複数資料を関連付けたり、相違点や共通点を見いだしたりするガイドを活用し、多様な表現活動を通して、さらに思考を深めることができる。 ・1単位時間ごとの学習の最後に「次につなげよう」を置き、次の時間の中心となる問いにつながるようし、単元を通じた追究や思考の深まりを促している。
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・単元の学習内容にふさわしい資料を掲載している。特に、6年生歴史編では、その時代に起きた出来事や建造物等が現代につながり、大切に残されている資料があり児童が過去とのつながりを実感しやすくなっている。	・資料が過去、現在、未来のように変容を捉えやすくなっている。現在だけでなく、未来の社会についても考えやすいものになっている。 ・棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフ等を学習の内容に応じて見やすく提示している。資料には詳細な説明とは別に見てすぐに理解できるような見出しと簡易説明も載せられている。
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	・5年「これからの食料生産とわたしたち」の単元では、食料自給率に焦点を当て、現状の課題から将来、持続可能な生産とするためにどのような取り組みができるかを考える学習を位置付けている。 ・6年「世界の未来と日本の役割」の単元では、世界中で様々な環境問題が起きていること、持続可能な社会づくりの必要性、SDGsの理念等が入っており、ESDの視点から学習を進められる構成となっている。	・暮らしの改善についてや伝統的な文化の継承、環境に配慮した循環型社会の構築など持続可能な社会に向けた取り組みが多く載せられている。 ・ESDの視点を取り入れ、社会の成り立ちや人々の努力について理解が深められる単元計画であることから、持続可能な社会の創り手として地域社会で行動できる態度の醸成が期待できる。
B 使用上の 便宜 について	(1) 児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・単元の「つかむ→調べる→まとめ→いかす」の各段階において、見学や調査、体験等の活動や討論会や報告会、発表等の発信する機会を設けており、主体的に学習を進められる工夫がされている。	・単元全体を貫く学習問題と、1単位時間ごとの問いを設け、問題解決的な学習の充実が図られている。 ・学習問題の設定までの学習活動では、豊富な写真資料や関係する人々の話を取り入れ、調べ学習に向けた児童の興味・関心が高まる構成となっている。
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。	・学習に関連した内容の施設や文化財は、多摩市や東京都に存在し、資料で調べたり見学したりすることができる。	・3・4年の副読本資料との併用時、多摩市と比べての共通点や相違点を見付けられる構成、もしくは多摩市の副読本の内容に補足する構成になっているため、扱いやすい。

教科名		社会	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点	発行者名	日本文教出版	
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が社会的事象の見方・考え方を働かすことのできる資料があるため学習内容が理解しやすいように工夫されている。</li> <li>・一つ一つの資料が大きく印刷されているため、児童が重要な情報を見付けやすくなっている。</li> </ul>	
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較して考えることのできる資料提示がされており、読み取った相違点や共通点を基に、考えを深めることができる。</li> </ul>	
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心資料と補助資料がバランスよく提示されている。</li> </ul>	
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の終わりに「わたしたちの学びを生かそう」というコラムが大きく取り上げられている。このコラムを基に、児童は習得した知識及び技能を生かして選択・判断し、学んだことを日々の生活の中で生かしていくことができる。</li> </ul>	
B 使用上の 便宜 について	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章資料の中に、児童のセリフが多く書かれている。このセリフを手がかりにどのような視点で資料を基に考えればよいのかが分かり、主体的に学習に取り組むことができる。</li> </ul>	
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国各地の写真資料等を使用しているため、多摩市の児童も問題なく学習に取り組むことができる。</li> <li>・政治単元の憲法の学習で取り上げられている資料は、中心となる調布市役所の資料に加えて、全国各地の写真が多く使われている。</li> </ul>	